

5月29日

お気に入りの一冊をプレゼント ふるさとブックサードを実施

小学校・義務教育学校の1年生に3冊の絵本を読み聞かせ、児童が気に入った1冊をプレゼントするブックサードが本年も実施されました。

この日は「よみきかせの会☆星の子（鍛冶恵子代表）」の3人が白糠学園を訪問し、絵本の読み聞かせを行いました。児童はお気に入りの1冊をそれぞれ選び、絵本が届く日を待ち焦がれている様子でした。



楽しい絵本の読み聞かせに笑顔の1年生

5月31日

楽しく学んで白糠を好きになってほしい ふるさと未来塾開講式

ふるさと未来塾の開講式と1回目の活動が社会福祉センターで開かれました。今年度は22人の児童が参加登録し、1年間の活動を通じて白糠の魅力を学びます。

1回目の活動は「白糠の植物で染物体験」として、タンポポやフキ、ムスカリなどの身近な植物を採取し、煮出して作った染料を使用する染物づくりを体験し、白糠の自然を再発見する機会となりました。



開講式での記念撮影

5月25日

自分の言葉で思いを伝える 第47回「少年の主張」発表

町教育委員会主催の第47回「少年の主張」発表が社会福祉センターで開かれ、中学校・義務教育学校後期過程の代表者5人が思いや夢、提言を発表しました。

最優秀賞を受賞した茶路中学校3年生の對木亜香さんは「自分で築き、自分で広げる人間関係」と題し、「勇気を持って自分から話しかけ、行動し、成長したい」と自らの思いを述べました。



最優秀賞を受賞した對木さんの発表

5月30日

住民同士のつながりを持てる活動を推進 白糠町連合町内会定期総会

町連合町内会（染谷仁也会長）の令和7年度定期総会が開催され、町内会長や役員36人が出席し、新年度の事業計画や予算を決定しました。

総会前に行われた表彰式では、連合町内会役員や町内会長を長年に渡り務められた19人が表彰されました。

染谷会長は「一丸となって皆で支えあう地域づくりに向けて取り組みます」とあいさつしました。



連合町内会役員20年の表彰を受ける石田正義理事

5月22日

きれいな町を維持してほしい 明治安田生命「ごみ袋寄贈」

明治安田生命が町に麻製のごみ袋（40ℓ相当）を75枚寄贈しました。不法投棄防止を目的とした「自然の番人宣言」の支援として、清掃活動に役立てられます。

この日は、同社釧路支社春採営業所の樋口主馬所長が役場を訪れ、吉田保健福祉部長へごみ袋を手渡しました。樋口所長は「清掃活動などで有効活用いただき、きれいな町を維持してください」と話していました。



ごみ袋を手渡す樋口所長（左）と吉田部長

5月25日

防災意識と団結力高める 消防団春季消防演習

春季消防演習が白糠消防庁舎で行われ、団員52人と消防職員14人が防災意識を新たにしました。

この日は、あいにくの雨模様だったため、小型ポンプ操法などの屋外での訓練展示は中止となり、屋内で人員報告や服装点検などが行われました。

桐原千里団長は「全国的に山林火災が多いため、日頃の備えと予消防に努める」とあいさつをしました。



屋内で行われた服装点検の様子

5月17日

白糠アイヌ文化保存会 大阪・関西万博でアイヌ舞踊披露

白糠アイヌ文化保存会が大阪・関西万博でアイヌ舞踊を披露し、多文化共生の精神を世界発信しました。

会場には、北海道内外からアイヌ民族が約200人集い、うち同保存会からは8人の会員が参加しました。

舞踊を披露したアイヌ民族は「自然との共生」というテーマのもと、迫力のある踊りで自然との調和を伝え、来場客を魅了しました。



フンペリムセ（鯨踊り）などを披露した白糠の会員たち

5月23日

女性の力で地域を元気に 女性ボランティアクラブ総会

町女性ボランティアクラブ（桧森千枝子会長）の定期総会が社会福祉センターで開催され、会員や来賓合計49人が出席し、令和7年度の活動方針や事業計画などを決定しました。

桧森千枝子会長は「会員の減少が続いていますが、少ない人数なりに協力して活動していきましょう」とあいさつを述べ、会員に協力を呼びかけました。



あいさつする桧森会長